

# ① 事業計画書（共通）

## 記入例

### 1 事業計画者

住所：一関市竹山町 7-2

氏名：一関 太郎

### 2 転用の目的

自己住宅等

- ・現在、アパートを借りて生活しているが、長男が誕生し今後の生活を考え、実家の隣接地である当該地に自己住宅を建築したい 等

太陽光発電設備

- ・事業拡大のため太陽光発電設備を整備したい 等

### 3 事業の概要

#### (1) 事業に供する農地（など）

番号	所在地	登記地目	現況地目	登記面積	所有者	備考
1	一関市〇〇町〇〇番〇号	田	田	10.00	一関 次郎	
2	一関市〇〇町〇〇番〇号	宅地	宅地	20.00	一関 次郎	
合計				30.00		

#### (2) 転用する農地の内訳

自己住宅等

- ・自己住宅1棟 〇㎡、駐車場〇台分 〇㎡、庭 〇㎡、合計 〇〇㎡

駐車場の車の台数等  
具体的に記入すること

太陽光発電設備

- ・太陽光パネル 〇枚 〇㎡、引込柱 〇㎡、変電設備 〇㎡、通路等 〇㎡ 合計〇〇㎡ 等

#### (3) 工事期間

RO.〇.〇～RO.〇.〇

### 4 費用内訳

土地取得費	2,000,000	円
工事費	25,000,000	円
合計	27,000,000	円

許可申請書と同じ金額になるように記入すること

### 5 資金計画

(1) 自己資金	12,000,000	円
(2) 借入資金	15,000,000	円（金融機関名等 〇〇〇銀行）
(3) 補助金		円
合計	27,000,000	円

許可申請書と同じ金額になるように記入すること

## 6 周囲への被害防除対策

### 自己住宅等

- ・雨水の流出が考えられるが、砂利敷を行い、自然浸透で対応する。
- ・土砂の流出が考えられるが、十分な転圧で防止する。等

具体的に記入すること

### 太陽光発電設備

- ・雨水の流出が考えられるが、パネルの離隔距離を確保し、自然浸透させる。
- ・土砂の流出が考えられるが、十分な転圧で防止する。等

## 7 用排水計画

取水-給水可能地域・なし 等

排水-下水道・雨水のみ 等

## 8 その他個別規制法令等の有無

(1)	都市計画法・建築基準法	都市計画区域内(〇〇〇地域)
(2)	農業振興地域に関する法律	対象外
(3)	宅地造成規制法	対象外
(4)	森林法	対象外
(5)	土地改良区管轄	対象外
(6)	文化財保護法	対象外
(7)	盛土規制法 ※対象外の場合、理由も記入	対象外(RO. O. Oに県南広域振興局農政部〇〇に確認・盛土する土地が500㎡以下のため対象外 等)
(8)	その他関係法令等の規制	対象外

## 9 位置選定検討(図面も添付すること。)

※3種農地の場合は記入不要

### (1) 選定地

候補地	A 〇〇1-1	B 〇〇1-2	C 〇〇1-3	D 〇〇1-4
地目	田	畑	原野	山林
面積(㎡)	100	80	110	200
農振区分	農振地域外	農振地域内 (白地)	農振地域外	農振地域外
備考欄				

### (2) 検討結果

候補地の周辺で、必要な面積を確保でき、第一種農地ではない農地にて検討を行った。

候補地Aについては、地権者の同意が得られ、造成に適している。

候補地Bについては、傾斜が急なため、資機材の搬入出が不可のため不適。

候補地Cについては、地権者からの同意が得られなかったため不適。

候補地Dについては、地盤が建築に適しておらず、地権者の同意も得られなかったため不適。 等

## 10 売電方法(太陽光発電設備の転用の場合)

非FIT(株式会社〇〇へ売電予定)

選定した理由、除外した理由等を具体的に記載すること。

## 11 農地区分・農振区分等の照会結果

令和〇年〇月〇日に〇〇支所産業建設課に確認を依頼。

令和〇年〇月〇日に農振地域外で第〇種農地と回答あり。

農地区分・農振区分の確認を行っていない場合、先に照会を行い、回答をもらった後に転用申請を行うこと